

平成28年熊本地震の被害状況について

1. 概 況（気象庁HP：4月30日37報）

○地震の概要 4月14日21時26分以降に発生した震度6強以上の地震

- ・4月14日21:26 熊本県熊本地方 マグニチュード6.5 最大震度7
- ・4月15日00:03 熊本県熊本地方 マグニチュード6.4 最大震度6強
- ・4月16日01:25 熊本県熊本地方 マグニチュード7.3 最大震度7
- ・4月16日03:55 熊本県阿蘇地方 マグニチュード5.8 最大震度6強

○地震活動の状況

- ・14日21:26以降震度1以上を観測する地震が1,079回発生
（震度7:2回、震度6強:2回、震度6弱:3回、震度5強:3回、震度5弱:7回）

2. 被害状況

○人的被害

死者 49名（消防庁 48報5月6日7:30時点）

行方不明者 1名（南阿蘇村阿蘇大橋付近）

○林野関係被害（現時点で判明しているものを記載。引き続き調査中。）

・治山関係（被害箇所数 被害額）

【林地被害】（381箇所 25,654,085千円）

熊本県353箇所 福岡県1箇所 佐賀県1箇所

長崎県5箇所 大分県19箇所 宮崎県2箇所

【治山施設】（22箇所 1,836,400千円）

熊本県17箇所 大分県5箇所

・林道関係（134路線 1,621箇所 850,730千円）

熊本県108路線 1,578箇所

佐賀県1路線 1箇所

大分県8路線 12箇所

宮崎県17路線 30箇所

・木材加工施設関係（被害額調査中）熊本県13箇所

・特用林産施設関係（被害額調査中）熊本県3箇所 福岡県3箇所

3. 対応状況

- 4月14日 九州森林管理局に「地震情報連絡室」設置
九州森林管理局の大会議室を避難所として開放。近隣住民の受け入れ開始（20数名）。
毛布、飲料等の局備蓄品を近隣の避難所へ提供。
- 4月15日 九州森林管理局に「緊急自然災害対策本部」設置。
九州森林管理局職員全員の安全を確認。
九州森林管理局が熊本県庁及び森林総合研究所の専門家と連携してヘリコプターによる調査を実施（5箇所程度小規模な崩壊地を確認）。
（搭乗者 熊本県1名 森林管理局3名 森林総研 1名）
政府調査団（松本内閣府副大臣）に九州森林管理局計画保全部長外が同行。
政府現地災害対策本部に林野庁担当官1名を派遣。
木炭・煉炭等の供給体制整備について関係団体に要請し、30トンの炭を確保。
- 4月16日 九州森林管理局職員・家族の安否を再確認 全員無事を確認
林野関係団体による自主的な支援活動を開始。
木炭・煉炭等の供給体制整備について関係団体等に再要請。
- 4月17日 九州森林管理局大会議室避難者約250名（06:30時点）。
熊本県阿蘇地域を含めた現地調査を実施。
- 4月18日 九州森林管理局が熊本県庁及び森林総合研究所の専門家と連携して2回目のヘリコプターによる調査を実施。（熊本県、大分県、宮崎県において崩壊地を確認）。
災害復旧に向け、技術者2名（林野庁職員）を熊本県庁へ派遣。
- 4月19日 森林総合研究所の専門家、熊本県、林野庁及び九州森林管理局の技術者による合同現地調査を実施（南阿蘇村立野地区）。
- 4月20日 森林総合研究所の専門家、熊本県、林野庁及び九州森林管理局の技術者による合同現地調査を実施（阿蘇市狩尾地区）。
- 4月22日 熊本県及び林野庁の技術者による合同現地調査を実施（南阿蘇村長野地区、河陽地区）。
- 4月25日から 九州森林管理局職員2名を現地調査の協力のため熊本県へ派遣継続中。
- 4月29日から 罹災証明手続きの支援のため、九州森林管理局職員4名を合志市（こうしし）へ派遣継続中。
- 5月1日 九州森林管理局大会議室避難者8名（21:30時点）。
- 5月2日 農林水産大臣による現地視察に九州森林管理局長及び林野庁森林整備部長が同行。
ヘリコプターによる林地崩壊等の被害状況調査を実施。